

拝啓

今年も早や5月末、初夏の気候の頃となりました。お元気でお過ごしのことと思います。いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。わが屋の狭い庭に植えたスイトピーが、軒下まで伸びて、ピンクの花をあふれるほど咲かせ、道行く人の目を楽しませてくれていましたが、そろそろ終わりです。近所の公園では、なんじゃもんじゃ(ひとつばたご)、うつぎ、えごの木、やまぼうしなどが白い花を咲かせていました。木の花は、普段は何の木がよく分からないのですが、急に木全体に花がきれいに咲いて驚き、何の木だろうと思って家で樹木の図鑑を調べています。また、我が散歩道では、これからしばらくは雑草がきれいな時期です。

ヒルティ先生の「眠られぬ夜のために」を12回かけて終りまして、今月から、大島元村教会の牧師であった故相沢良一先生の「黒潮の神学」から引用、紹介をいたします。相沢良一先生(1917-2009)は昨年ご昇天になられましたが、「黒潮」という伝道誌を全国の教会に送っておられましたから、御存じの方も多いと思います。私も「黒潮」の愛読者でした。また「回想の南原繁」という本に「矢内原忠雄先生と南原繁先生」という題で両先生の思い出の文章を書いておられ、その御縁から、私は平成19年と20年に、大島のお宅を訪ね、いろいろとお話を伺ったことがありました。南原先生を深く尊敬されておりまして、非常に話が合いました。

5月23日の午後、南原研究会のメンバー4人で多摩霊園の南原繁、矢内原忠雄、新渡戸稲造、内村鑑三、吉野作造の五人の先生のお墓に参って来ました。各先生のお墓の前で先生方のお好きな讃美歌を歌い、だれかが短いお祈りが感話を述べるという墓前礼拝ですが、今年で7回目になります。道々あるいは終わった後の直らいでいろいろな話ができて良い墓参でした。

5月1,2日には、本誌読者の佐藤昭夫さんと1泊2日で、大菩薩峠の介山荘に泊まり、大菩薩連嶺を歩くという登山をしてきました。昨年二人で行った南アルプスが、甲斐駒から聖岳の南、上河内岳まで、雪を抱いた白い姿でくっきりと見え、眺望を楽しんで来ました。なぜ山が見えてそんなに楽しいんだろうといつも思いますが、行ったことのある山を遠くから眺めると楽しいものでした。

今年は、晴れたり、雨が續いたり、すこし変な天気が続きますが、どうぞ御身体御自愛の程祈り申し上げます。

敬具

山口周三

平成22年5月26日

エンカウターの読者各位